様式第2号

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

542　　令和8年6月8日現在

①	ふりがな 氏名	ないとう　まさる 内藤　将
④ 所属先	所属先名称	有限会社　Paddy Field
	役職名	代表取締役
⑥ 専門分野 ※該当に✓を記入		☐ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☑ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☐ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
⑦ 対象鳥獣 ※該当に✓を記入		☑ シカ　☑ イノシシ　☑ サル　☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
⑧ 対応可能地域 ※該当に✓を記入		☐ 全国　☐ 北海道　☐ 東北　☐ 関東　☐ 北陸　☐ 東海 ☐ 近畿　☐ 中国　☐ 四国　☐ 九州　☐ 沖縄 ☑ その他※特定の都道府県、地域（山梨県　　）
⑨ 免許、資格及び登録状況 ※該当に✓を記入		☑ 狩猟免許　（ 銃：取得年 H25年　、　わな： H25年 ） ☐ 鳥獣プロデータバンク　（☐ 鳥獣保護管理プランナー　☐ 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター　☐ 鳥獣保護管理調査コーディネーター） ☐ 鳥獣管理士（　　）級 ☐ ジビエ利活用コーディネーター ☐ その他（修士(理工学)）

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（活動実績）

542　　令和8年6月8日現在

⑫活動実績	
活動期間	令和5年4月～令和8年6月
地域	山梨県韮崎市
対策の種類 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☑ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☑ シカ　☑ イノシシ　☑ サル　☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☑ ハクビシン　☑ アライグマ　☑ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
活動の内容	韮崎市からの委託で通年ハクビシン、アライグマなどの中型哺乳類の捕獲方法を現地の痕跡や聞き取りから獣種を特定し、箱罠の設置個所やどんなエサがよいか助言を行った。 韮崎市の委託事業で年に一回、集落環境診断を行い問題提起をし、被害対策の指針を立てている。 令和5年度に集落環境診断を行った折居地区ではニホンザルやニホンジカの通り道となっている藪が県の所有地だったため、県へ柵の設置案を提出し建設された。 令和6年度に行った若尾地区ではニホンザルの群れに装着されている発信機を利用し、行動圏調査を行った。調査の結果群れが山にほとんど戻らない群れだと判明したため、現在群れの捕獲方法を市や地域住民とともに検討している。 令和7年度に行った山寺地区では山側に広域電気柵が設置されているが管理があまりされておらず、電気柵の仕組みやメンテナンス方法について地域住民に講義を助言を行うべく調整している。